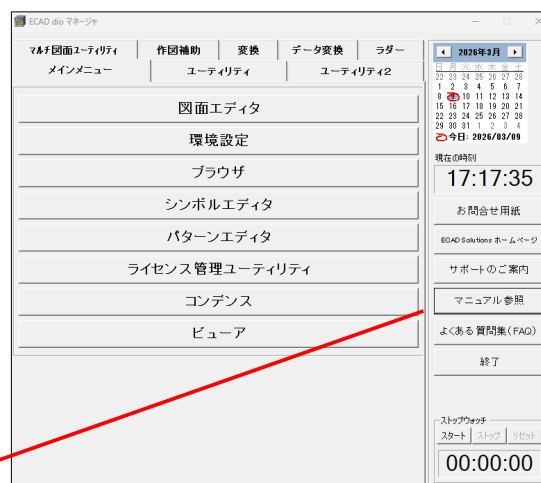


ECAD dio 2026 新機能解説

<本書について>

本書『ECAD dio 2026 新機能解説』は、新機能の中でも特に利用頻度が高いと思われる項目について、図を交えながら詳しく解説した資料です。なお、本書は株式会社ECADソリューションズの監修を受けておらず、有限会社システムウイングの責任において作成されています。もし誤りや記載漏れなどお気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。

新機能の全体像を把握するため、本書を読む前にECAD dio マネージャの「マニュアル参照」より『ECAD dio 機能追加変更ガイド 2025→2026』をご覧ください。



- 機能追加変更ガイド(2023→2024).pdf
- 機能追加変更ガイド(2024→2025).pdf
- 機能追加変更ガイド(2025→2026).pdf
- 三菱PLCツールとのリンクについて.pdf

ECAD は株式会社ECAD ソリューションズの登録商標です。

その他に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

2026年4月

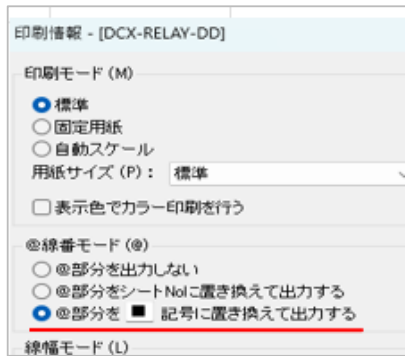
制作 有限会社システムウイング

1

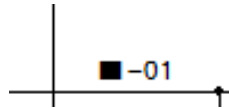
@線番の置き換え記号の改善

印刷時に@線番をシートNoや△に置き換える機能がありますが、△以外の記号に置き換えることができるようになりました。

<STEP1> ここでは例として「印刷情報」で@部分を■記号にします



<STEP2> 印刷又は印刷プレビューを行うと@部分が■に置き換わります。

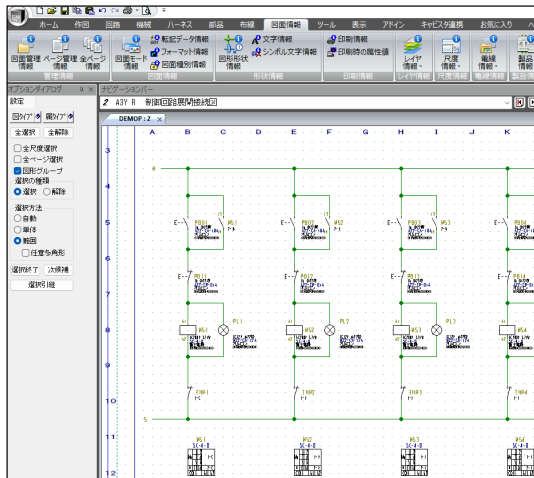


2

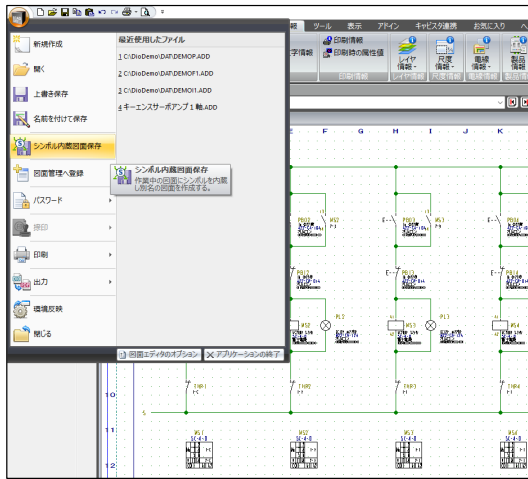
シンボル内蔵処理の操作性改善

これまでは「シンボル内蔵処理」を行うには一旦、図面を閉じて行う必要があり少々面倒を感じていたのではないのでしょうか。今回の操作性改善により、図面を開いたままシンボル内蔵図面を保存できるようになりました。さらに、保存時にファイル名を変更することも可能です。

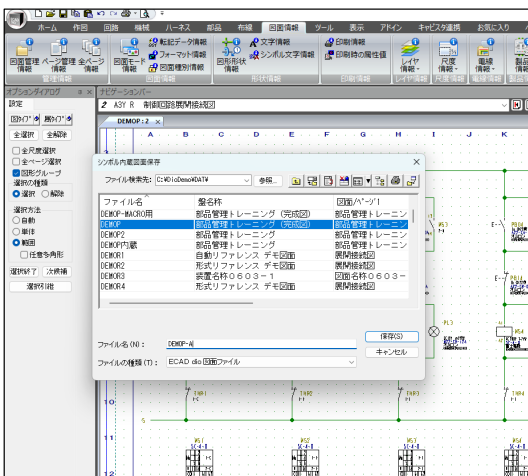
<STEP1> 図面は開いた状態です



<STEP2> アプリケーションボタンから「シンボル内蔵図面保存」を選択します



<STEP3> 保存するフォルダを選択して「保存」します。必要に応じてファイル名を変更します。



3 ライセンス管理サーバーのクラウド対応

クラウド上に構築した仮想サーバーを、ライセンスサーバーとして利用できるようになりました。これにより、従来のオンプレミス運用では得られなかった、次のようなメリットが期待できます。

- ① ライセンスサーバ用としてWindowsServerを物理的に社内に用意する必要はありません。
- ② ライセンスをサーバから切り離すことなく社外でもECADを使用できます。
※ただし、安定したインターネット接続が必須です。
- ③ 扱うデータ量によりコストは物理サーバより安く抑えられます。データ量が多くなれば逆にコストは高くなりますので要注意です。（料金体系はクラウド各社の仕様に準じます）
- ④ 現時点で動作確認しているクラウドサービスは、Amazon AWSとMicrosoft Azureです。

4 その他の新機能

以下の新機能に関しましては商品添付の『ECAD dio 機能追加変更ガイド 2025→2026』をご覧ください。

- ・ ライセンス管理システムの改善
- ・ AutoCAD 2026対応
- ・ シンボルファイルの強化
- ・ TIFFファイルの圧縮方式の整理
- ・ 電気図形変換

ECAD dio 2026 新機能解説

製作元

〒984-0821

宮城県仙台市若林区中倉3丁目9-15

AIマンション大和402

有限会社システムウイング

TEL : 022-781-6437 FAX : 022-781-6438

E-mail : info@msj-wing.co.jp